



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年11月9日

上場会社名 兼松エンジニアリング株式会社
コード番号 6402 URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 琴一

問合せ先責任者 (役職名) 管理部門執行役員 (氏名) 林 久貴

TEL 088-845-5511

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,751	1.1	431	27.6	444	27.3	305	25.4
2022年3月期第2四半期	5,814	1.8	595	12.5	611	12.0	409	14.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	63.41	
2022年3月期第2四半期	73.59	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2023年3月期第2四半期	12,582		5,753		45.7	
2022年3月期	12,811		5,712		44.6	

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 5,753百万円 2022年3月期 5,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		55.00	55.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				35.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 特別配当33円00銭 株式上場20周年記念配当10円00銭

2023年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 特別配当23円00銭

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	7.3	685	33.2	700	31.7	485	35.3	100.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	5,564,000 株	2022年3月期	5,564,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期2Q	752,545 株	2022年3月期	752,545 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	4,811,455 株	2022年3月期2Q	5,558,755 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
3. その他	P. 8
(1) 生産、受注及び販売の状況	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、原材料の価格高騰や海外経済の減速による下振れが懸念される一方で、新型コロナウイルス感染症の感染が急拡大したものの、まん延防止等重点措置などは導入されず、個人消費の急減速は避けられ、企業業績や輸出の底堅さを背景に、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られます。

かかる状況下、当第2四半期累計期間は、懸念された部品供給不足やシャシの入庫時期の不透明といった要因は最小限に留まりましたが、シャシの外的要因による様々な制約を受け、大型機種や特殊製品の販売は減少となり、加えて前事業年度に操業開始した工場「テクノベース」の償却負担もあり、前年同四半期比減収・減益の結果となりました。

一方で、足元の受注環境は引き続き好調であり、当第2四半期会計期間末での受注残高は前年同四半期に比べ増加しております。

なお、当事業年度売上に影響を及ぼす可能性のあるシャシの搬入についても確保の見通しであります。

業績(数値)につきましては、前第2四半期累計期間に比べ受注高は282百万円増の6,610百万円(前年同四半期比4.5%増)、売上高は63百万円減の5,751百万円(前年同四半期比1.1%減)となりました。損益につきましては、営業利益は164百万円減の431百万円(前年同四半期比27.6%減)、経常利益は166百万円減の444百万円(前年同四半期比27.3%減)、四半期純利益は103百万円減の305百万円(前年同四半期比25.4%減)を計上することとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末残高に比べ229百万円減少し、12,582百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加897百万円、無形固定資産の増加34百万円及び繰延税金資産の増加29百万円はありましたが、売上債権の減少439百万円、未収消費税等の減少326百万円、棚卸資産の減少296百万円及び有形固定資産の減少130百万円によるものであります。

負債は、前事業年度末残高に比べ270百万円減少し、6,828百万円となりました。これは主に、未払消費税等の増加186百万円、未払法人税等の増加101百万円及び引当金の増加44百万円はありましたが、仕入債務の減少307百万円、未払金の減少196百万円及び借入金金の減少104百万円によるものであります。

純資産は、前事業年度末残高に比べ41百万円増加し、5,753百万円となりました。これは主に、剰余金の配当264百万円はありましたが、四半期純利益の計上305百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果得られた資金は、1,513百万円(前年同四半期比1,015.4%増)となりました。これは主に、仕入債務の減少325百万円はありましたが、消費税等の増減額513百万円、税引前四半期純利益の計上443百万円、売上債権の減少439百万円、棚卸資産の減少296百万円及び減価償却費の計上180百万円によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、251百万円(前年同四半期比83.2%減)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出254百万円によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、363百万円(前年同四半期は得られた資金1,156百万円)となりました。これは配当金の支払額258百万円及び長期借入金金の返済による支出104百万円によるものであります。

従いまして、現金及び現金同等物の当第2四半期会計期間末残高は、前事業年度末残高に比べ897百万円増加し、1,459百万円(前期比159.6%増)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2022年8月5日付の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	967,512	1,864,692
受取手形及び売掛金	3,116,322	2,676,540
商品及び製品	612,839	329,168
仕掛品	1,454,602	1,436,367
原材料及び貯蔵品	253,069	258,057
その他	358,807	36,657
貸倒引当金	△1,558	△1,338
流動資産合計	6,761,595	6,600,146
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,019,997	2,946,967
土地	1,509,649	1,509,649
建設仮勘定	25,020	25,261
その他（純額）	903,315	845,433
有形固定資産合計	5,457,983	5,327,311
無形固定資産	289,524	323,672
投資その他の資産		
繰延税金資産	257,627	287,415
その他	44,930	43,942
投資その他の資産合計	302,558	331,358
固定資産合計	6,050,065	5,982,342
資産合計	12,811,661	12,582,489

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,419,439	3,112,081
短期借入金	700,000	—
1年内返済予定の長期借入金	209,996	349,996
未払法人税等	82,632	183,918
賞与引当金	256,170	296,000
役員賞与引当金	29,470	5,060
製品保証引当金	51,000	67,000
その他	523,991	519,987
流動負債合計	5,272,699	4,534,042
固定負債		
長期借入金	1,552,505	2,007,507
退職給付引当金	266,452	279,676
その他	7,600	7,600
固定負債合計	1,826,557	2,294,783
負債合計	7,099,256	6,828,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	5,957,262	5,997,731
自己株式	△913,585	△913,585
株主資本合計	5,713,399	5,753,867
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△994	△204
評価・換算差額等合計	△994	△204
純資産合計	5,712,404	5,753,663
負債純資産合計	12,811,661	12,582,489

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	5,814,742	5,751,049
売上原価	4,391,157	4,375,773
売上総利益	1,423,584	1,375,276
販売費及び一般管理費	828,423	944,143
営業利益	595,161	431,132
営業外収益		
受取利息	31	6
受取賃貸料	9,691	8,758
未払配当金除斥益	3,326	3,259
その他	3,941	4,371
営業外収益合計	16,991	16,396
営業外費用		
支払利息	1,022	2,900
その他	65	549
営業外費用合計	1,087	3,449
経常利益	611,065	444,079
特別利益		
固定資産売却益	9,976	318
特別利益合計	9,976	318
特別損失		
固定資産除却損	620	519
投資有価証券売却損	—	255
工場移転関連費用	21,702	—
50周年記念関連費用	5,218	—
特別損失合計	27,541	774
税引前四半期純利益	593,500	443,622
法人税、住民税及び事業税	176,061	168,313
法人税等調整額	8,352	△29,788
法人税等合計	184,413	138,524
四半期純利益	409,086	305,098

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	593,500	443,622
減価償却費	103,055	180,248
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△204	△219
賞与引当金の増減額 (△は減少)	25,000	39,830
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△63,465	△24,410
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△5,000	16,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12,815	13,223
受取利息及び受取配当金	△563	△645
支払利息	1,022	2,900
売上債権の増減額 (△は増加)	409,328	439,781
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△150,785	296,918
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,259	△325,604
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△143,270	186,958
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△318,276	326,299
その他	△94,443	△11,123
小計	360,453	1,583,780
利息及び配当金の受取額	563	645
利息の支払額	△1,022	△2,900
法人税等の支払額	△224,340	△68,376
営業活動によるキャッシュ・フロー	135,654	1,513,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,744,783	△24,721
有形固定資産の売却による収入	350,535	318
無形固定資産の取得による支出	△108,009	△229,385
投資有価証券の売却による収入	—	1,694
その他	△1,059	275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,503,316	△251,818
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,500,000	△700,000
長期借入れによる収入	—	700,000
長期借入金の返済による支出	—	△104,998
配当金の支払額	△343,670	△258,955
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,156,329	△363,953
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△211,332	897,377
現金及び現金同等物の期首残高	917,482	562,293
現金及び現金同等物の四半期末残高	706,150	1,459,670

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、環境整備機器関連事業並びにこれらの付帯業務の単一事業であるため、セグメントごとに記載しておりません。

当第2四半期累計期間における生産実績、受注実績及び販売実績を製品の品目ごとに示すと、次のとおりであります。

① 生産実績

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	3,575,922	△13.8
高压洗浄車	1,242,938	+40.7
粉粒体吸引・圧送車	29,537	△82.5
部品売上	511,696	+10.9
その他	416,519	+58.6
合計	5,776,614	△2.5

(注) 1 生産高は、販売価格によるとともに、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車の生産等が主なものであります。

② 受注実績

品目	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	4,368,963	+1.2	5,479,402	+10.0
高压洗浄車	1,201,461	+26.2	1,364,269	+34.5
粉粒体吸引・圧送車	—	—	150,500	△25.1
部品売上	511,696	+10.9	—	—
その他	528,825	+10.7	710,260	+31.1
合計	6,610,947	+4.5	7,704,431	+14.4

(注) 1 受注高及び受注残高は、販売価格によるとともに、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車・中古車及び修理改造等の受注が主なものであります。

3 受注残高には、翌事業年度の納入予定金額が含まれております。

③ 販売実績

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	3,876,065	△3.8
高压洗浄車	1,077,392	+24.5
粉粒体吸引・圧送車	39,700	△74.2
部品売上	511,696	+10.9
その他	246,194	△19.5
合計	5,751,049	△1.1

(注) 1 販売高には、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車・中古車の販売及び修理改造等が主なものであります。